

質問紙調査の結果から、本校の設定する資質・能力に関しては、約半数に肯定的な回答が見られた。一方で「論理的思考力」の項目では、「とてもそう思う」と回答した児童は7名しかおらず、筋道立てて考えたり式・図・言葉を相互に関連付けて表したりすることが定着しているとは言えないと考える。

また、本単元を学習する前に行ったレディネステストを行った。

番号	内容	正答率
1	①袋の中に入っているあめの数を数える。 ②あめの全部の数を数える。	① 93% ② 100%
2	①ケーキを2こずつ組にする。 ②2こずつの組の数を数える。 ③ケーキの全部の数を数える。	① 93% ② 66.6% ③ 100%
3	①2とびで数を数える。 ②5とびで数を数える。	① 93% ② 93%

レディネステストの結果から、数を数えることは概ね身につけていることが分かった。また、2とびや5とびなどいくつかずつにまとめて数える数え方もほとんどの児童が身につけていた。

しかし、ひとまとまりにした組の数を「1つ」と数える問題2-②は、全体の約4割の児童が不正解だった。それは、まとまりごとに数えることができていないからだと考える。

5 指導観

指導にあたっては、以下の工夫を行う。

(1)主体的・対話的で深い学びに向けた指導の工夫

- ・「既習内容を使えば解けそうだ」という見通しを持たせることで、主体的に学習に臨めるようにする。
- ・図を使って自分の考えの理由をノートに書かせることにより、考え方の根拠を明確にさせる。
- ・どのような考え方でクッキーの数を求めたかを、図と式を結び付けて説明させる。
- ・練り合いの場面で、「単元をつらぬくアイデア（本質）」を活用して、お互いの考えの共通点や相違点についての意見交流を行い、目指す資質能力を育成できるようにする。

(2)振り返り場面の指導の工夫

- ・自らの学びを振り返り、授業を通して分かったことや考えたこと、成長したことを発表させる。
- ・友達の考えのよかったところや、気付いたことを発表させる。

(3)児童の実態に合わせた指導の工夫

- ・「一つ分のいくつ分」を身につけさせるため、数図ブロックで様々な大きさのまとまりを作ったり、問題文を図に表したりさせる。説明させる際には、図と式を結びつけながら説明させる。
- ・「九九早唱えプロジェクト」を立ち上げ、子どもたちが興味を持って取り組むことができるような場を設定する。
- ・単元を通して、単元をつらぬくアイデア（本質）をつかませ、「どんなかけ算の問題でも『一つ分のいくつ分』の考えで求めることができる。」ことを単元の最後に振り返ることができるようにする。

6 単元で育てたい資質・能力及び本単元の目標と評価規準

＜本校で身に付けさせたい資質・能力＞

本校で身に付けさせたい資質・能力		
資質・能力	めざす児童の姿	算数科での児童の姿
主体性	自分で考えて行動する児童	課題解決に向けて自分の考えや意見を進んで表現する姿。
論理的思考力	根拠を明らかにして、理由をつけて自分の意見を述べる児童	課題解決に必要なことを理解して、筋道を立てて考え、式・図・言葉を相互に関連付けて表現する姿。
自己理解	自分の学習活動について自分が出来ている事、出来ていない事が分かる児童	意見交流を通して「自分や友達の考えの良さ」や「自分の誤り」に気づき、表現したり、修正したりする姿。
自らへの自信	周囲との関わりを通して「自分の良さ」に気付く児童	振り返りの場面でお互いの考えの良さを伝える姿や自分の説明で他の児童を納得させる姿。（「なるほど」「そういうことか」「わかった」）

＜単元で育てたい資質・能力と評価規準＞

資質 能力	評価規準		
	I	C	E
主体性	かけ算に関心を持ち、自分で問題を解こうとしている。	既習事項を使って問題の解き方を考えようとしている。	かけ算を使う問題を解く時に、「1つ分」の大きさと「1つ分がいくつ分」かに注目して考え、他の問題でも積極的に活用している。
論理的思考力	かけ算の仕方を式・図・言葉を使って表現している。	かけ算の仕方を算数カードを使ったり、友達の考えを使ったりして、分かりやすく表現している。	「1つ分のいくつ分」という「単元をつらぬくアイデア（本質）」を使って、本単元の全ての問題、またパフォーマンス課題に取り組み、日常生活の場面につなげて表現している。
自己理解	練り合いの場面で、友達の質問に答えたり、友達に質問したりしている。	練り合いの場面で、友達の質問に答えたり、友達に質問したりする中で自分や友達の考えの良さに関心し、間違っていた場合は適切に修正している。	練り合いの場面で、友達の質問に答えたり、友達に質問したりする中で、どの考えも「単元をつらぬくアイデア（本質）」につながっていることに気づき、表現したり、修正したりすることができる。
自らへの自信	振り返りの場面で、自分が分かったことを伝えている。	振り返りの場面で、自分が分かったことや、友達の考えの良さを伝えている。	振り返りの場面で、自分が分かったことや、友達の考えの良さを伝えるとともに、学習した「1つ分のいくつ分」の考えを実際の生活場面で生かしている。

＜本単元の目標＞

かけ算の意味を理解し、1～9の段のかけ算を構成し、九九を唱え、それを適用することができる。


＜評価規準＞

観点	評価規準
算数への関心・意欲・態度	かけ算に関心をもち、身のまわりからかけ算で表せる数量の場面を進んで見つけようとしている。また、九九のよさがわかり、進んで用いようとしている。
数学的な考え方	かける数が1増えると、積はかけられる数だけ増えることを使って、九九を構成することができる。
数量や図形についての技能	かけ算の式に表したり、九九を唱えたり、それを適用して問題を解くことができる。
数量や図形についての知識・理解	記号「×」や用語「かけ算」「～ばい」の意味、単位とする大きさのいくつ分かを求めるときにかかけ算をすればよいことが分かる。また、アレイ図を使った九九の構成の仕方が分かる。

＜本校の振り返り場面でのICEルーブリック＞

I（考え，基礎知識）	C（つながり）	E（応用，広がり）
・授業で分かったことを言うことができる。	・友達の考えを聞いて考えたことや新しく分かったことを言うことができる。	・授業を通して分かったことを、これからの学習や生活にいかそうとしている。

7 単元計画（13時間）

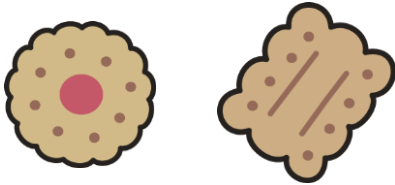
時	学習活動	観点	児童の思考の流れ	評価																														
		関 考 技 知		◇評価規準 ★資質・能力(評価方法)																														
1	課題の設定 本時の目標：単元課題を知り，学習の計画を立てよう。																																	
	○単元課題を読んで問題に関心をもつ。 ・クッキーの数は何枚なのかな。	○	・数えずに全部のクッキーの数を数えたいな。 ・クッキーの数は何枚なのかな。	◇問題に興味をもち，どのように考えればよいか考えている。(行動観察) ★課題解決に向けて自分の考えや意見を進んで表現している。(発言)【主体性】																														
<p>(単元課題)</p> <p>2学きのおたのしみ会で1・2年生みんなでクッキーを食べるために，寺川先生が何まいか買ってきました。みんなにくばるまえに，寺川先生が4まい食べました。今，クッキーは何まいありますか。</p> <table border="1" style="display: inline-table; margin-right: 20px;"> <tr><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> </table> 					○	○	○			○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○																																
○	○	○																																
○	○	○	○	○																														
○	○	○	○	○																														
○	○	○	○	○																														
○	○	○	○	○																														
2	情報の収集① 本時の目標：かけ算の図をつくってみよう。																																	
	○アレイ図から4×3は，数図ブロックが4個ずつ3列に並んでいることを見つけろ。 ・数図ブロックが，いくつずつ並んでいるのかを考えよう。	○	・数図ブロックがいくつずつ何列並んでいるのかを考えればいいんだね。 ・4×3は1列に4つずつ3列分だね。 ・図を使うとよく分かるね。	◇アレイ図を使ってかけ算が構成できることを理解することができる。(行動観察) ★課題解決に向けて自分の考えや意見を進んで表現している。(発言)【主体性】																														
3	情報の収集② 本時の目標：6のだんの九九をつくらう。																																	
	○アレイ図を使って6×1～6×3の答えを求めろ。 ・6の段の九九をつくらう。 ○答えが6ずつ増えることに着目して6の段を構成する。	○	・6つずつ何列あるのかを考えればいいね。 ○6の段は，答えが6ずつ増えているね。 ・6の段の九九を覚えたよ。	◇アレイ図を使って6の段の九九を構成することができる。(ノート) ◇6の段の九九の唱え方を知る。(行動観察) ★課題解決に向けて自分の考えや意見を進んで表現している。(発言)【主体性】																														
4	整理・分析① 本時の目標：6のだんを使って問題を解こう。																																	
	○問題場面をかけ算の式に書き，6の段の九九を使って解く。 ・チーズの数を求めるにはどのように考えたらいいいのかな。	○	・今日はチーズの数を求めたらいいんだね。 ・6個ずつ4はこ分だから，6×4=24と考えればいいね。 ・何で4×6じゃないのかな。 ・「1つ分のいくつ分」で考えるから6×4だね。	◇身のまわりにある問題を6の段の九九を用いて解くことができる。(発言，ノート) ★課題解決に必要なことを理解して，筋道を立てて考え，式・図・言葉を相互に関連付けて表現している。(ノート・発言)【論理的思考力】																														
5	情報の収集③ 本時の目標：7のだんの九九をつくらう。																																	
	○アレイ図を使って7×1～7×3の答えを求めろ。 ・7の段の九九をつくらう。 ○答えが7ずつ増えることに着目して7の段を構成する。	○	・7つずつ何列あるのかを考えればいいね。 ○7の段は，答えが7ずつ増えているね。 ・7の段の九九を覚えたよ。	◇アレイ図を使って7の段の九九を構成することができる。(ノート) ◇7の段の九九の唱え方を知る。(行動観察) ★課題解決に向けて自分の考えや意見を進んで表現している。(発言)【主体性】																														

6	整理・分析② 本時の目標：7のだんを使って問題をとこう。 <input type="checkbox"/> 問題場面をかけ算の式に書き、7の段の九九を使って解く。 ・4週間は何日あるのかを求めるとはどのように考えればいいのか。		○	<input type="checkbox"/> 今日は何日あるのかを求めるとはどのように考えればいいのか。 ・4週間は何日あるのかな。 ・1週間が7日で4週間分あるのだから $7 \times 4 = 28$ と考えればいいのか。 ・「1つ分のいくつ分」で考えるから 7×4 だね。	<input type="checkbox"/> 身のまわりにある問題を7の段の九九を用いて解くことができる。(発言、ノート) ★課題解決に必要なことを理解して、筋道を立てて考え、式・図・言葉を相互に関連付けて表現している。(ノート・発言)【論理的思考力】
7	情報の収集④ 本時の目標：8のだんと9のだんの九九をつくろう。 <input type="checkbox"/> アレイ図を使って8の段と9の段をつくる。 ・今まで習ってきたことを使って8の段と9の段の九九を自分でつくってみよう。		○	<input type="checkbox"/> 8の段は8ずつ増えるのかな。 ・9の段は9ずつ増えると思うよ。 ・9の段は一の位が1, 2, 3, 4...となっているよ。	<input type="checkbox"/> アレイ図を使って8の段、9の段を自分でつくることができる。(行動観察) ★意見交流を通して「自分や友達の考えの良さ」や「自分の誤り」に気付き、表現したり、修正したりしている。(行動観察)【自己理解】
8	整理・分析③ 本時の目標：8のだんを使って問題をとこう。 <input type="checkbox"/> 問題場面をかけ算の式に書き、8の段の九九を使って解く。 ・大きい箱にあめがいくつ入っているかを求めるにはどのように考えればいいのか。		○	<input type="checkbox"/> 大きい箱に入っているあめの数を求めればいいのか。 ・大きい箱に入っているクッキーの個数は「8この7倍」で求められるね。 ・ 8×7 をすればいい。	<input type="checkbox"/> 身のまわりにある問題を8の段の九九を用いて解くことができる。(発言、ノート) ★課題解決に必要なことを理解して、筋道を立てて考え、式・図・言葉を相互に関連付けて表現している。(ノート・発言)【論理的思考力】
9	整理・分析④ 本時の目標：9のだんを使って問題をとこう。 <input type="checkbox"/> 問題場面をかけ算の式に書き、9の段の九九を使って解く。 ・画用紙の値段を求めるとはどのように考えればいいのか。		○	<input type="checkbox"/> 値段が何円になるかを考えればいいのか。 ・9円ずつ6まい分だから 9×6 と考えればいいのか。 ・「1つ分のいくつ分」で考えるから 9×6 だね。	<input type="checkbox"/> 身のまわりにある問題を9の段の九九を用いて解くことができる。(発言、ノート) ★振り返りの場面でお互いの考えの良さを伝える姿や自分の説明で他の児童を納得させることができている。(発言、行動観察)【自らへの自信】
10	情報の収集⑤ 本時の目標：1つ分が1のときのかけ算を考えよう。 <input type="checkbox"/> 絵を見て、ケーキの数は 1×4 というかけ算の式で表されることをとらえる。 ・1つ分が1の時はどのように考えればいいのか。		○	<input type="checkbox"/> 1皿にはケーキが1つしか入っていないね。 ・1皿に1つずつだから 1×1 , $1 \times 2 \dots$ と考えればいいのか。	<input type="checkbox"/> 1の段のかけ算の意味を理解し、1の段の九九を構成することができる。(行動観察) <input type="checkbox"/> 1の段の九九を用いて適用問題を解くことができる。(ノート) ★課題解決に必要なことを理解して、筋道を立てて考え、式・図・言葉を相互に関連付けて表現している。(ノート・発言)【論理的思考力】
11	整理・分析⑤ 本時の目標：かけ算をつかった問題をとこう。 <input type="checkbox"/> 問題から数量の関係を考え、乗法と加法を使って解決する。 <input type="checkbox"/> 問題から数量の関係を考え、乗法と減法を使って解決する。		○	<input type="checkbox"/> 2種類の買った物の値段を求めるからたし算をしないとけないね。 ・残りのまんじゅうの数を数えるからひき算だね。 ・まとまりを考えて、かけ算をした後、たすのか引くのかを考えないとけないね。	<input type="checkbox"/> 乗法と加法、乗法と減法が組み合わされた3要素2段階の計算の仕方を考えている。(発言、ノート) ★振り返りの場面でお互いの考えの良さを伝える姿や自分の説明で他の児童を納得させることができている。(発言、行動観察)【自らへの自信】
12	まとめ・創造・表現・振り返り① 本時の目標：単元課題に挑戦しよう。 <input type="checkbox"/> 学習してきたことを活用して、単元課題を解決する。 ・クッキーの数を求めるにはどうしたらいいのか。 ・どのようにして求めたか説明しよう。		○	<input type="checkbox"/> 今までのやり方でできるかな。 ・まず、全部のクッキーの量を求めて、残りを求めよう。 ・「1つ分のいくつ分」の考え方が使えそうだな。 ・式と図をつなげて説明しよう。 ・どんな言葉で説明したらいいだろう。	<input type="checkbox"/> クッキーの数を、単元を貫くアイデア(本質)を使って解き、考えを説明することができる。(行動観察、ノート) ★意見交流を通して、友達と自分の考えを比べて、自分の考えを理論的に表現することができる。(行動観察、ノート)【自己理解】【論理的思考力】


13	まとめ・創造・表現・振り返り②	本時の目標：パフォーマンス課題に挑戦しよう。
パフォーマンス課題 ○パフォーマンス課題を解き、単元について振り返る。 ・クッキーの数を求めるにはどのように考えればいいのか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・単元課題や今までの学習で使ったアイデアが使えないかな。 ・単元課題よりもわかりやすく説明しよう。 ・できなかったから、できるようにしよう。
		<ul style="list-style-type: none"> ◇パフォーマンス課題を解くことができる。(パフォーマンス課題) ★振り返りの場面でお互いの考えの良さを伝える姿や自分の説明で他の児童を納得させることができる。(発言、パフォーマンス課題) 【自らへの自信】

8 パフォーマンス課題

2学きのおたのしみ会で1・2年生みんなでクッキーを食べるために、寺川先生が何まいか買ってきました。みんなにくばるまえに、教頭先生がクッキーを6まい食べました。今、クッキーは何まいありますか。



○	○	○	○	○
○	○	○	○	○
○	○	○	○	○
○	○	○	○	○
○	○	○	○	○
○	○			
○	○			



9 パフォーマンスの評価基準


1	2	3
・現在のクッキーの数を正しく求めている。	・現在のクッキーの数を単元をつらぬくアイデア（本質）を活用して式・図・言葉を関連させて説明することができる。	・現在のクッキーの数を算数カードや式・図・言葉や単元をつらぬくアイデア（本質）を活用していろいろな考え方で求めることができる。

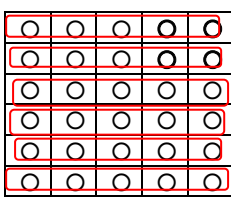
10 本時の展開

- (1) 本時の目標 クッキーの数を単元を貫くアイデアを使って求めることができる。
- (2) 準備物 問題文 さし絵
- (3) 本時の展開

授業のポイント！【全体交流】

- ① 単元課題の提示の仕方を工夫する。
- ② 自力解決や集団解決では、単元をつらぬくアイデア（本質）を活用して、自分の考えを式・図・言葉などを用いて分かりやすく説明させることで、練り合いを深めさせる。
- ③ 授業を通して分かったことや友達の発表を聞いて考えたこと、自分の成長などについて、ICEルーブリックを活用して振り返らせる。

学習活動	主な発問と児童の反応予想	指導上の留意点 ☆児童への支援	評価基準 (評価方法)																																																																																										
<p>1 つかむ ⑤</p> <p>2 さぐる ⑩</p>	<p>1 本時の課題を知る。 C : 今日の問題を読みます。</p> <p>(単元課題) 2 学きのおたのしみ会で1・2年生みんなでクッキーを食べるために、寺川先生が何まいか買ってきました。 みんなにくばるまえに、寺川先生が4まい食べました。 今、クッキーは何まいありますか。</p> <table border="1" data-bbox="555 533 810 723"> <tr><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> </table> <div data-bbox="962 481 1136 678" style="text-align: right;">  </div> <div data-bbox="199 750 730 922" style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>○児童が「解きたい。」と思えるような単元課題の提示をする。 (写真や映像、実際に行う活動など)</p> </div> <div data-bbox="810 750 1375 922" style="border: 2px solid blue; padding: 5px;"> <p>○主体的な学び ◆情報の提示の仕方を工夫することで、児童が興味・関心をもって学習できるようにする。</p> </div> <p>C : 分かっていることは、寺川先生がなんまいかのクッキーを買ってきたことです。 寺川先生が4まい食べたことです。 C : 聞いていることは、今のクッキーの数です。 C : 単位は○まいです。 C : 課題は、「クッキーの数は、どのようにもとめたらよいのかな。」です。</p> <p>2 自力解決をする。 T : どのように考えれば良いでしょう。その理由も書きましょう。</p> <p>⑦ (しき) $6 \times 3 = 18$ $4 \times 2 = 8$ $18 + 8 = 26$ 答え 26こ</p> <table border="1" data-bbox="272 1411 504 1601"> <tr><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> </table> <p>⑧ (しき) $3 \times 2 = 6$ $5 \times 4 = 20$ $6 + 20 = 26$ 答え 26こ</p> <table border="1" data-bbox="272 1731 504 1921"> <tr><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> </table>	○	○	○			○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	<p>◇クッキーの数を単元をつらぬくアイデア(本質)を使って解き考えを説明することができる。 (行動観察、ノート)</p> <ul style="list-style-type: none"> 問題場面を捉えさせるために、さし絵を使って問題把握をさせる。 自分の考えが分かるよう、図に書き込みをさせる。 自分の考えを友だちによく分かるように説明できるようにするために、ノートに説明を簡単に書かせる。 	
○	○	○																																																																																											
○	○	○																																																																																											
○	○	○	○	○																																																																																									
○	○	○	○	○																																																																																									
○	○	○	○	○																																																																																									
○	○	○	○	○																																																																																									
○	○	○																																																																																											
○	○	○																																																																																											
○	○	○	○	○																																																																																									
○	○	○	○	○																																																																																									
○	○	○	○	○																																																																																									
○	○	○	○	○																																																																																									
○	○	○																																																																																											
○	○	○																																																																																											
○	○	○	○	○																																																																																									
○	○	○	○	○																																																																																									
○	○	○	○	○																																																																																									
○	○	○	○	○																																																																																									

<p>3 練 り 合 う ⑳</p>	<p>㉗ (しき) $6 \times 5 = 30$ $30 - 4 = 26$ (別式) $5 \times 6 = 30$ $30 - 4 = 26$ <u>答え 26こ</u></p>  <p>3 考えたことをもとに、話し合う。 T : どのように考えましたか。わけも発表しましょう。</p>		
	<p>○ノートに書いた自分の考えを、言語技術を用いて、分かっていることと求めることを明確にして式・図・言葉で友達に分かりやすく説明し、意見を交流する。 T : どのように考えましたか。わけも発表しましょう。</p> <p>㉘ まず、たてにかこみます。一つ分は6と4です。 次に、6が3つ分、4が2つ分あるから、$6 \times 3 = 18$ $4 \times 2 = 8$です。 この2つを合わせるから、$18 + 8 = 26$です。答えは26こです。</p> <p>㉙ まず、よこにかこみます。一つ分は3と5です。 次に、3が2つ分、5が4つ分あるから、$3 \times 2 = 6$ $5 \times 4 = 20$です。 この2つを合わせるから、$6 + 20 = 26$です。答えは26こです。</p> <p>㉚ まず、全部のクッキーの数を出します。一つ分は6(5)です。6が5つ分(5が6つ分)あるから、$6 \times 5 = 30$ ($5 \times 6 = 30$)です。 寺川先生が食べた数をひくから、$30 - 4 = 26$です。答えは26こです。</p> <p>T : 2つの考えを比べましょう。</p> <p>C : ㉗は、たてにかこんでいます。 C : ㉘は、よこにかこんでいます。 C : ㉙は全部の数から食べた数をひいています。 C : ㉗と㉘は1つ分の数が違います。 C : どちらも1つ分×いくつ分で求めています。 C : まとめは、「クッキーの数を求めるには、1つ分×いくつ分でもとめればよい。」にすればいいと思います。</p>	<p>○対話的で深い学び合い (練り合いの充実)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ノートに書いた自分の考えや、友達の意見を参考にして、全体の場で自信をもって発表させる。 ・練り合いの場面では、「単元をつらぬくアイデア(本質)はどこか。」「どこまでが分かって、どこからが分からないか。」を意識して、友達の発表を聞くように指導する。 ・疑問や補足に加えて、本単元で学習してきた「1つ分のいくつ分」の考えを想起させ、本時はどんな式にすればよいかを考えさせることで本単元を貫くアイデアに気付かせる。 <p>・ふりかえりで、友だちの考えのよかったことやがんばったことを言わせ、有用感・満足感・達成感を味わわせる。 ・数学的な考え方のカードを使って、理由もつけて発表させる。</p>	
<p>4 ふ り 返 り ⑳</p>	<p>4 振り返りをする。</p> <p>○ICEルーブリックを活用して、本時の授業を振り返る。 C : 1つ分×いくつ分で求めればよかったことがわかりました。 C : ○○さんの説明の仕方が分かりやすかったのでやりたいです。 C : ほかにかけざんでも1つ分×いくつ分のできるかやってみたいです。</p>		<p>○深い学び合い (振り返りの充実)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICEルーブリックを活用して、本時の授業を振り返り、自己の成長やできるようになったことを発表させる。

(4) 板書計画

(単元課題)

2 学きのおたのしみ会で 1・2 年生みんなでクッキーを食べるために、寺川先生が何まいか買ってきました。
 みんなにくばるまえに、寺川先生が 4 まい食べました。
 今、クッキーは何まいありますか。

○	○	○		
○	○	○		
○	○	○	○	○
○	○	○	○	○
○	○	○	○	○

わ クッキーを何まいか買ってきた。
 寺川先生が 4 まい食べた。
 き クッキーは何まいありますか。
 た ○こ

かだい

クッキーの数をもとめるにはどのように考えればいいのか。

まとめ

クッキーの数をもとめるには 1 つ分 × いくつ分でもとめればよい。

さぐる

練り合う

たてにかこむ

よこにかこむ

ア $6 \times 3 = 18$ $4 \times 2 = 8$
 $18 + 8 = 26$

- 答え 26こ
- ・ 1 つ分は 6 の 3 つ分と 4 の 2 つ分だから $6 \times 3 = 18$
 $4 \times 2 = 8$
 - ・ それを合わせて
 $18 + 8 = 26$
 - ・ 答えは 26 こ

イ $3 \times 2 = 6$ $5 \times 4 = 20$
 $6 + 20 = 26$

- 答え 26こ
- ・ 1 つ分は 3 の 2 つ分と 5 の 4 つ分だから $3 \times 2 = 6$
 $5 \times 4 = 20$
 - ・ それを合わせて
 $6 + 20 = 26$
 - ・ 答えは 26 こ

ぜんぶのかずからひく

ウ $6 \times 5 = 30$ $30 - 4 = 26$
 $5 \times 6 = 30$ $30 - 4 = 26$

- 答え 26こ
- ・ 1 つ分は 6 の 5 つ分 (5 の 6 つ分) だから $6 \times 5 = 30$ ($5 \times 6 = 30$)
 - ・ 寺川先生が 4 つ食べたから
 $30 - 4 = 26$
 - ・ 答えは 26 こ